



感謝のつどい

14日(水)、給食委員会の企画・運営による「感謝のつどい」を行いました。これは、14日(水)～20日(火)の『給食週間』の取組の一つで、給食などでお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えたり、栄養についての知識を深めたりすることをねらいとしています。まず、給食委員長から感謝の言葉があり、その後、各学年で作ったカレンダーを調理員の奥村さん・山本さん・野口さん、用務員の生田さんにプレゼントしました。代表して奥村調理員さんからは、「おいしかったです」「いつもありがとうございます」の言葉に励まされていることや、当たり前だと思っていることに感謝できる人になってほしいというお話がありました。給食委員会の児童たちからは、全校児童にかむことの大切さについての発表がありました。児童の皆さんは、一口30回かむことを目標にして、しっかりとよくかんで食事をしていきましょう。

また、この期間には給食委員がお昼の放送で食に関するクイズを行ったり、20日(火)には全校児童が8つのグループに分かれて楽しく給食を食べたりします。福井県の特産食材や地場産物をふんだんに使った「ふくいのおいしい給食」が16日(金)に予定されており、福井県の新ブランド「いちほまれ」と「ふくいポーク」のカツも味わえます。

子どもたちが食や食材に関心を持ち、食への感謝の気持ちが育まれると同時に自分たちが住んでいる地域のよさを少しずつ理解できるようになってほしいと思います。



《給食委員長からの感謝の言葉》



《プレゼントのカレンダー》



《給食委員会からの発表》

市P連スポーツ交流大会

11日(日)、AW-Iスポーツアリーナで市P連スポーツ交流大会が開催されました。競技種目はソフトバレーボールと玉入れです。この日までに保体部の役員さんを中心に五中のPTAの方たちと合同の練習を重ねてきました。当日のソフトバレーボールでは白熱したプレーや好プレーがたくさんあり、応援にも熱が入りました。お世話をしてくださった保体部の役員の皆様、そして練習や試合に参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。

